

整理番号
261

**事務事業評価表**  
**令和6年度実施事業**

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域自治組織推進事業（再掲）				担当課	協働まちづくり課		
業務名	地域自治組織による地域活性化業務				担当係	地域振興係		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営		
主な取組	1	自治意識の高揚			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	12	地域振興事業費			

目的と方針【PLAN】	人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。							
事業概要【PLAN】	「自分たちのまちは自分たちでつくる」という協働のまちづくりの理念のもと、地域の実情に応じて住民の自主的な地域づくりを推進します。							
対象【PLAN】	地域自治組織			意図【PLAN】	地域自治組織が、住民と市との協働により地域活性化や課題解決に取り組み、協働のまちづくりの理念のもとに自主的かつ持続的な活動に取り組む。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	地域住民が協働のまちづくりの理念を理解し、広域的な自治組織を設立することで、単一町内会等では解決できない課題を解決するために取り組みや、地域を活性化させるために事業を実行する。							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	64,374	63,853	63,732	63,700		
	事業費合計	千円	64,374	63,853	63,732	63,700		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地域自治組織の設立数（累計）	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	28	28	28	29	29
			実績値	28	28			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	中山間地域を中心に人口減少や高齢化の進行が顕著であり、広域的な自治組織を設立することで現状を維持していく必要があることから、市民ニーズ、社会的ニーズ及び事業の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	広域的な自治組織によりできる活動の幅は増えるため、自治組織を設立することは有効であると考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	令和5年度より旧町ごとに特別交付税措置が適用される集落支援員を配置し、各自治組織に足繁く通い、聞き取りや話し合いにより自治組織活動の支援を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度、地域自治組織を対象とした出前講座を開催できた点は評価できる。今後も地域自治組織が相互に意見交換、情報交換できるような勉強会を設けていく。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
262

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達地域まちづくり活性化事業				担当課	伊達総合支所
業務名	-				担当係	地域総務係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	一部委託
主な取組	1	自治意識の高揚			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	8	伊達地域まちづくり活性化事業	

目的と方針【PLAN】	人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。		
事業概要【PLAN】	天王通り商店街の賑わい創出に向け、こどもから高齢者が利用できる多世代交流施設を整備し、天王通り商店街に集い・語らい・回遊できるまちづくり・地域づくりを目指します。		
対象【PLAN】	地域住民を中心とした市民全体	意図【PLAN】	まちの駅だてを設置し、地域における多世代による交流と地域コミュニティの維持・形成、天王通り商店街を中心とした賑わいづくりを進める。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	まちの駅だてを拠点とした伊達地域まちづくり活性化事業を推進する。一般社団法人まちづくり伊達との連携協力のもと、地域の賑わいづくりのための各種施策を推進する。		

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	40,489	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	4,100	42,500	0	0		
	その他	千円	0	2,489	0	0		
	一般財源	千円	14,515	18,907	13,438	12,026		
	事業費合計	千円	18,615	104,385	13,438	12,026		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
まちの駅だて利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	-	8,000	9,600	12,000	13,000
			実績値	-	9,377			
			達成率	-	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	空き地となっていた旧伊達公民館跡地を活用し、地域コミュニティの維持・形成と賑わいづくりを目的としてまちの駅だてを設置した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	子どもから高齢者まで多世代の方が集える施設として、また天王通商店街を中心とした賑わいづくりの拠点として機能を果たしていきたい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	指定管理を導入し、民間ノウハウの導入による収益性の向上や経費の削減、柔軟な事業展開によるまちなか活性化を目指したい。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和7年度より指定管理者制度を活用し、民間活力やノウハウを活かした事業展開を進めたい。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
263

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	交流館維持管理事業				担当課	協働まちづくり課		
業務名	-				担当係	地域振興係		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度		
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営		
主な取組	2	コミュニティ施設の整備支援			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	14	交流館費			

**目的と方針【PLAN】**  
人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。

**事業概要【PLAN】**  
地域自治組織の拠点施設である交流館の維持管理を行い、交流館を活用した地域活動を推進します。

<b>対象【PLAN】</b>	交流館利用者	<b>意図【PLAN】</b>	市民が地域活動や生涯学習活動等のために、交流館を積極的に利用する。
-----------------	--------	-----------------	-----------------------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
交流館利用者が安心して施設を利用できるよう適切に維持管理する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,240	5,032	6,031	5,398		
	事業費合計	千円	5,240	5,032	6,031	5,398		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
交流館の利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	175,000	200,000	225,000	250,000	300,000
			実績値	190,239	220,904			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	交流館は地域活動の拠点であり、施設を安心して利用できるよう維持管理することは必要であり、市民ニーズ、社会的需要及び事業として優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	交流館利用者を増やすためには、施設が適切に維持管理されていることが必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	交流館の機械警備業務委託を長期契約し、委託費を抑えた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	交流館の多くは地域自治組織に運営を依頼しており、地域の拠点としての存在意義が大きい。今後も引き続き地域自治組織との連携が重要になってくる。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
264

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域自治組織推進事業（再掲）				担当課	協働まちづくり課		
業務名	地域自治組織活動発信業務				担当係	地域振興係		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営		
主な取組	2	コミュニティ施設の整備支援			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	12	地域振興事業費			

目的と方針【PLAN】	人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。							
事業概要【PLAN】	地域自治組織の広報紙やHPを伊達市市民活動支援センターHPに掲載し、市民や他団体への周知を図ることで地域活動の活性化を推進します。							
対象【PLAN】	地域自治組織			意図【PLAN】	伊達市市民活動支援センターのHPに各地域自治組織の広報紙やHPが掲載され、地域活動が活発だと感じる。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	各地域自治組織が地域活動を活発に行い、定期的に広報紙を作成したり、HPに活動内容を掲載する。							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	64,374	63,853	63,732	63,700		
事業費合計		千円	64,374	63,853	63,732	63,700		

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市市民活動支援センターのHPに自治組織の広報紙やHPを掲載した団体数（累計）	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	18	24	28	29	29
			実績値	17	18			
			達成率	94.4%	75.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	各地域自治組織の活動を伊達市市民活動支援センターを通じて一堂に知ることができ、お互いの活動の参考になることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	各自治組織の活動を一堂に把握することができることから、各広報紙やHPを閲覧することができることは有効である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	伊達市市民活動支援センターのHPから各自治組織の広報紙やHPを閲覧できることで、閲覧者の検索する時間を省力化することができる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	すべての地域自治組織が伊達市市民活動支援センターのHPに広報紙やHPを掲載していないことから、伊達市市民活動支援センターのHPを周知するとともに、広報技術の向上を図っていくことが課題。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
265

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	集落対策事業				担当課	協働まちづくり課
業務名	-				担当係	地域振興係
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営
主な取組	3	コミュニティ活動の活性化支援			-	-
1	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	12	地域振興費	

**目的と方針【PLAN】**  
人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。

**事業概要【PLAN】**  
地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材を「集落支援員」として配置し、集落への「目配り」として地域を巡回し、地域のあるべき姿や課題解決に向けた話し合いを行い、課題解決の取り組みを支援します。

<b>対象【PLAN】</b>	①集落支援員 ②地域	<b>意図【PLAN】</b>	①集落支援員が地域の課題を把握し、地域の課題解決や地域活性化を支援している。 ②地域が集落支援員の支援を受け、主体的な地域活動ができる。
-----------------	---------------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
集落支援員が地域の集落点検の実施により現状把握し、地域との話し合いにより解決策の検討や実行を支援する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	11,850	17,105	18,895		
事業費合計		千円	0	11,850	17,105	18,895		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
集落支援員の任用数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	5	6	8	10	12
			実績値	5	5			
			達成率	100.0%	83.3%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	地域における課題は多岐にわたり、地域への聞き取りや話し合いによる解決策を検討するなど地域の伴走支援が必要であることから、市民ニーズ、社旗的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	集落支援員は地域に赴き、地域自治組織及び地域住民との話し合いを重ねることが重要であることから、コミュニティ活動を活性化するためには有効である。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	集落支援員制度導入の初年度は、旧町に一人配置とし、最小限の人員でスタートした。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	集落支援員が地域の実情に合わせて活動できるよう、活動方針を明確に示す必要がある。また、広範囲な地域には増員の検討も必要である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
266

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	集会所建設等事業費補助金交付事業				担当課	協働まちづくり課		
業務名	集会所の建設及び修繕に係る補助金交付業務				担当係	地域振興係		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営		
主な取組	3	コミュニティ活動の活性化支援			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	12	市民協働費			

**目的と方針【PLAN】**  
人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。

**事業概要【PLAN】**  
地域活動の拠点となる集会所の新築や修繕にかかる費用の一部を補助し、地域活動を支援します。

<b>対象【PLAN】</b>	町内会等 市民	<b>意図【PLAN】</b>	町内会等の組織が、集会所等を拠点にして円滑な自治活動等を行うことができる。
-----------------	------------	-----------------	---------------------------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
町内会等が制度を理解して集会所の新築や修繕等に有効に活用し、地域住民誰もが安心して利用できる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	16,337	3,080	2,453	3,500		
	事業費合計	千円	16,337	3,080	2,453	3,500		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
集会所の新築及び修繕に対する補助件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	6	4			
			達成率	100.0%	80.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	町内会等の要望に応じた施設修繕等に補助することで地域活動の拠点となる集会所を安心、安全に利用することができ、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	コミュニティ活動の活性化には拠点施設が必要であり、かつ安全に使用するために事業費を補助することは有効である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	施設修繕等の見積書の確認を行い、対象外経費の把握により適正な補助金交付に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	一度補助を受けると次の補助を受けられるまで一定期間必要であることから（災害等除く）、集会所の状況把握に努め、補助制限の見直しを検討する必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
267

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	コミュニティ助成事業				担当課	協働まちづくり課		
業務名	-				担当係	地域振興係		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度		
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営		
主な取組	3	コミュニティ活動の活性化支援			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	12	地域振興費			

**目的と方針【PLAN】**  
人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。

**事業概要【PLAN】**  
一般財団法人自治総合センター助成金を活用するため、地域活動の拠点となる集会施設や活動備品の整備にかかる助成金を申請し、地域活動を支援します。

<b>対象【PLAN】</b>	町内会等 市民	<b>意図【PLAN】</b>	町内会等の組織が、集会所や地域活動備品等の整備により充実した地域活動等を行うことができる。
-----------------	------------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
町内会等が助成制度を理解し、集会施設の新築や太鼓等の備品の整備のために年1回の申請を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	13,600	2,400	2,300	5,000		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
事業費合計		千円	13,600	2,400	2,300	5,000		

**(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】**

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
集会施設や活動備品整備にかかる申請件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	2	3	3	3	3
			実績値	1	2			
			達成率	50.0%	66.7%			

**(2) チェック項目による評価【CHECK】**

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	集会施設の新築や備品整備には多額の費用負担が生じるが、助成制度を利用することで地域負担は軽減されるため、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	助成制度の利用により地域活動の拠点の集会所や地域活動備品の整備が可能となるため、助成制度の活用は有効である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	当該助成制度は自治総合センターの選考によるため、助成を受けられるまで複数年要することがある。

**(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】**

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	コミュニティ助成金を利用した町内会は、充実した地域活動を行うことができている。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
268

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域自治組織推進事業（再掲）				担当課	協働まちづくり課		
業務名	地域づくり計画策定推進業務				担当係	地域振興係		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	2	コミュニティ			事業区分	直営		
主な取組	3	コミュニティ活動の活性化支援			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	12	2	1	12	地域振興事業費			

**目的と方針【PLAN】**  
人と人が支え合う地域づくり、地域の課題を自ら解決することができる地域づくりに向け、コミュニティ活動の活性化を促す環境整備を進めます。

**事業概要【PLAN】**  
地域課題の解決や地域活性化に向けた「地域づくり計画」の策定を支援し、自立した自治組織の運営を推進します。

<b>対象【PLAN】</b>	地域自治組織	<b>意図【PLAN】</b>	地域自治組織が、住民と市との協働により地域活性化や課題解決に取り組み、協働のまちづくりの理念のもとに自主的かつ持続的な活動に取り組む。
-----------------	--------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
地域住民が協働のまちづくりの理念を理解する。  
地域自治組織が活動の明確化や地域課題を共有するための地域づくり計画を策定し、主体的に活動する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	64,374	63,853	63,732	63,700		
	事業費合計	千円	64,374	63,853	63,732	63,700		

**(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】**

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地域づくり計画の策定数(累計)	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	6	8	11	15	20
			実績値	4	4			
			達成率	66.7%	50.0%			

**(2) チェック項目による評価【CHECK】**

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	地域自治組織活動を推進するためには、地域づくり計画を策定し活動方針やビジョンを共有する必要があることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	コミュニティ活動の活性化には、地域の活動方針を示した計画やビジョンが必要であり、計画策定は有効だと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	令和5年度より配置した集落支援員より、未策定の地域に計画策定の働きかけを行っている。

**(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】**

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	各地域自治組織は参画する地域内の各種団体（町内会、婦人会、民生委員、福祉会、シニアクラブ等）が協働して、地域にとって必要な活動を実施していることは評価できる点。今後も活動が継続できるよう支援していく。
--------	----	-------------------------	--